



ペトロ岐部司祭叙階 400年

長崎

ゴア

エルサレム

ローマ

ローマまで歩いた不屈の人

旅に駆り立てた力は、
神と同胞に対する愛

ローマで司祭となり、

迫害に苦しむ

日本の教会のため

帰国、殉教―



- 1587年 豊後の国 国東半島の岐部に生まれる。少年時代は有馬のセナリオで養成される。
- 1615年 マカオに追放
- 1618年ころ マカオを出奔し、インドのゴア、パキスタン、イラン、イラク、ヨルダンなどを横断
- 1620年 エルサレムに立ち寄った後、ローマに着。
11月15日 司祭叙階。イエズス会への入会。
- 1622年 リスボンで誓願、帰国の途に。
- 1630年 薩摩の坊津に上陸。リスボンを出帆してから、8年の歳月。潜伏活動を東北地方に移す。
- 1639年 仙台で捕縛。江戸に護送、取り調べを受け拷問、穴吊り（浅草待乳山聖天近くの明地）
- 1639年（日付不明） 腹を火で炙られ殺された（52歳没）
- 2008年11月24日 ペトロ岐部と187殉教者 列福式

2020年11月15日 岐部祭《講演とミサ》 国見生涯学習センター「みんなかん」

主催：カトリック大分司教区 共催：日本カトリック司教協議会列聖推進委員会